南アジア・中東における女性たちの社会進出状況と今後の展望

NRI インド
グローバルナレッジセンター　チーフプロジェクトデザイナー　**本田 あや**

グローバルサウスにおける女性を取り巻く環境に変化が起きている。世界全体で見るとグローバルノースの女性の社会進出率が 50%以上である一方で、グローバルサウスの中でも南アジア・中東の女性の社会進出率は、文化的・宗教的な理由などを背景にいまだ 40%以下と低水準となっている。しかし、当該諸国における女性の社会進出率の過去 10 年間の数値を見ると緩やかに増加傾向にあり、特に 2020 年以降はわずかだが全体的に増加していることがわかる。

この変化には各国の政策が大きく寄与している。サウジアラビアでは、2016 年 に発表された国家改革「ビジョン 2030」において、労働力に占める女性の割合を 22%から 30%に引き上げることが明示された。17 年には女性の運転禁止が撤廃され、女性の移動範囲と仕事の幅の広がりを見せた。23 年時点では女性の社会進出率は 35%と、確実に成果を挙げている。またグローバルサウスをリードするインドは、23 年時点で女性の社会進出率は約 32.7%であり、17～18 年の 28% と比較すると約 1.17 倍増加している。19 年に制定された労働法には、女性の雇用を促進する規定が複数盛り込まれたことに加え、今期 3 期目に入るモディ政権が 24 年 7 月に発表した政府予算案では、女性と若年層の雇用や職業訓練への予算が過去に比べて大きく割り当てられている。

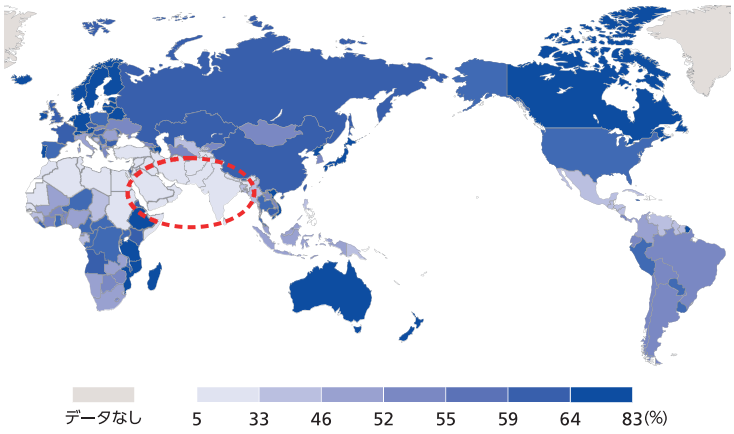
政府が改革を進める中、企業も将来的な女性雇用促進の動きを進めている。理化学系学位保持者の約 40%が女性であるインドでは、大手化粧品会社 L'Oréal 社や大手テック企業の Amazon 社などが、優秀な人材を獲得するために理化学系女子学生向けの奨学金制度を設けている。

社会進出を果たした後の女性たちの継続的な就業をサポートするフェムテックも、当該エリアで近年注目を集めている。フェムテックとは、Female と Technology をかけあわせた造語であり、女性特有の健康課題をテクノロジーの力で解決するための製品・サービスを指す。インドではフェムテックの登場によって、女性たちがオンラインコミュニティーなどで健康上の懸念について率直に話し合い、アドバイスを求められる。これにより女性たちの健康意識が向上し、正しい知識と共に健康を管理できる。インドのフェムテックは InnAccel 社や Nua 社といったスタートアップ企業が先導しており、その数は 370 社を超える。経済規模は 2024 年末までに 40 億 US ドルになると予測されている※1。

今後も、緩やかではあるが南アジアおよび中東の一部の国々の女性の社会進出率は伸びていくと考えられる。女性向けの製品やサービス市場も成長の可能性を秘めているのではないだろうか。

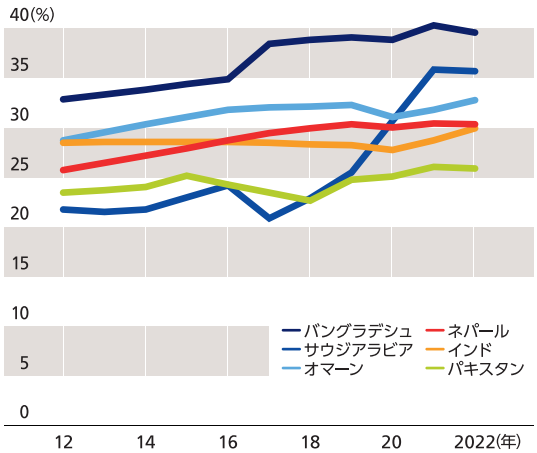
（監修：梶河　智史）

図表1　世界各国の女性の社会進出率（2023年）



出所）世界銀行「Labor force participation rate」より NRI 作成

図表2　中東・南アジアにおける女性の社会進出の10年間の推移



出所）世界銀行「Labor force participation rate」より NRI 作成

※1　FemTech India "The Hub of Growth and Opportunities in FemTech and Wellness!" https://femtechindia.com/the-hub-of-growth-and-opportunities-in-femtech-and-wellness/#:~:text=FemTech%20Market%20Overview,sexual%20wellness%2C%20and%20mental%20health（2024 年 10 月 9 日時点）

本件に関するお問い合わせ先：NMR編集事務局　nmredit@nri.co.jp（2026.1追記）

当レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法および国際条約により保護されています。
Copyright© 2024 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.